

大隅地域感染症情報 2018

第41週報（10月8日～10月14日）
大隅地域振興局保健福祉環境部

○定点医療機関からの定点当たり報告数

- ・ 感染性胃腸炎について、鹿屋保健所管内で先週に比べて増加しています。冬場はノロウイルスを原因とした流行が見られますので、集団発生を防ぐためにも対応マニュアルの確認等の準備を行って下さい。
- ・ 流行性角結膜炎は、減少傾向です。

疾病	警報レベル 開始/終息 基準値	注意報 基準値	鹿屋保健所管内推移				志布志保健所管内推移				大隅全体	県全体
			38週	39週	40週	41週	38週	39週	40週	41週	41週	40週
インフルエンザ	30.00/10.00	10.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.05
RSウイルス感染症	-	-	2.00	1.20	1.00	0.00	2.00	2.00	0.67	0.67	0.25	1.83
咽頭結膜熱	3.00/1.00	-	0.60	0.80	1.20	0.60	0.00	0.00	0.00	0.00	0.38	1.41
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.00/4.00	-	1.00	0.80	0.40	1.00	0.00	0.00	1.67	2.00	1.38	2.06
感染性胃腸炎	20.00/12.00	-	6.00	6.40	6.00	9.00	6.67	5.33	7.00	6.33	8.00	4.31
水痘	2.00/1.00	1.00	0.20	0.20	0.00	0.60	0.00	0.00	0.00	0.00	0.38	0.26
手足口病	5.00/2.00	-	0.60	0.20	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.26
伝染性紅斑	2.00/1.00	-	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00	0.09
突発性発疹	-	-	0.80	0.80	0.60	1.20	0.33	0.00	0.33	0.33	0.88	0.59
ヘルパンギーナ	6.00/2.00	-	0.20	0.80	1.60	1.20	0.33	0.33	0.00	0.33	0.88	2.54
流行性耳下腺炎	6.00/2.00	3.00	0.80	0.60	1.60	0.40	0.67	0.33	0.00	0.00	0.25	0.41
急性出血性結膜熱	1.00/0.1	-	0.00	0.00	0.00	0.00						-
流行性角結膜炎	8.00/4.00	-	6.00	11.00	9.00	7.00						3
基幹定点疾患			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

■ 警報基準値以上 ■ 注意報基準値以上

○感染性胃腸炎について

【警報開始基準値 20.0, 警報終息基準値 12.0】

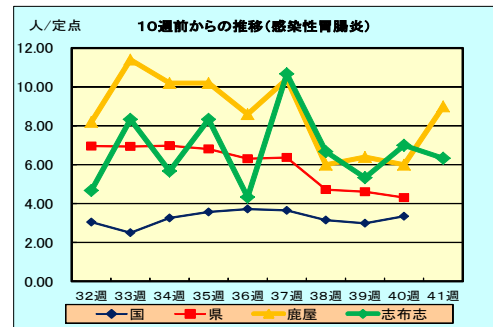
(感染性胃腸炎一図1) ※第41週は鹿屋・志布志のみ掲載

感染性胃腸炎の発生状況は、

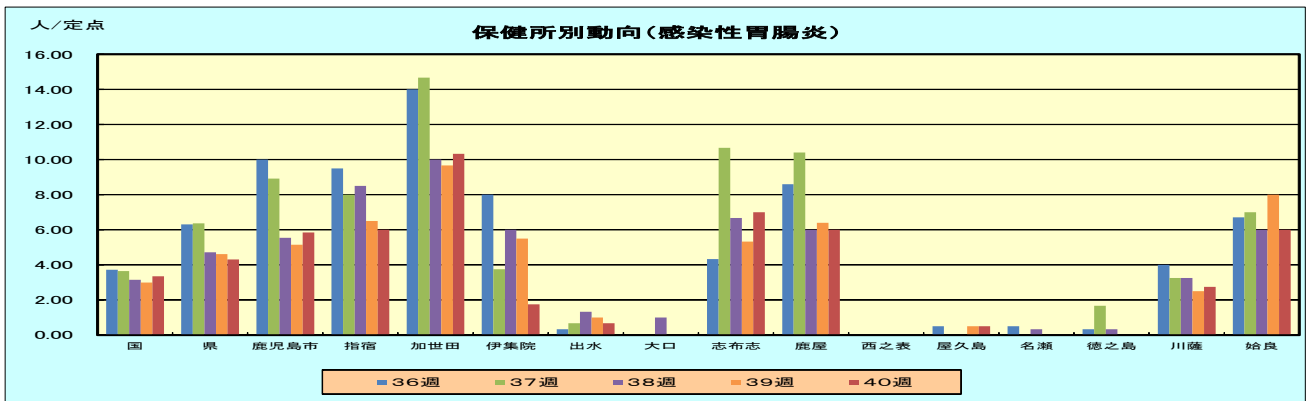
鹿屋保健所管内からは45名（定点当たり報告 9.00）の報告がありました。

志布志保健所管内からは19名（定点当たり報告数 6.33）の報告がありました。

年齢別では、4歳及び10～14歳が最多でした。



(感染性胃腸炎一図2) 県内保健所別感染性胃腸炎報告



○RS ウイルス感染症について

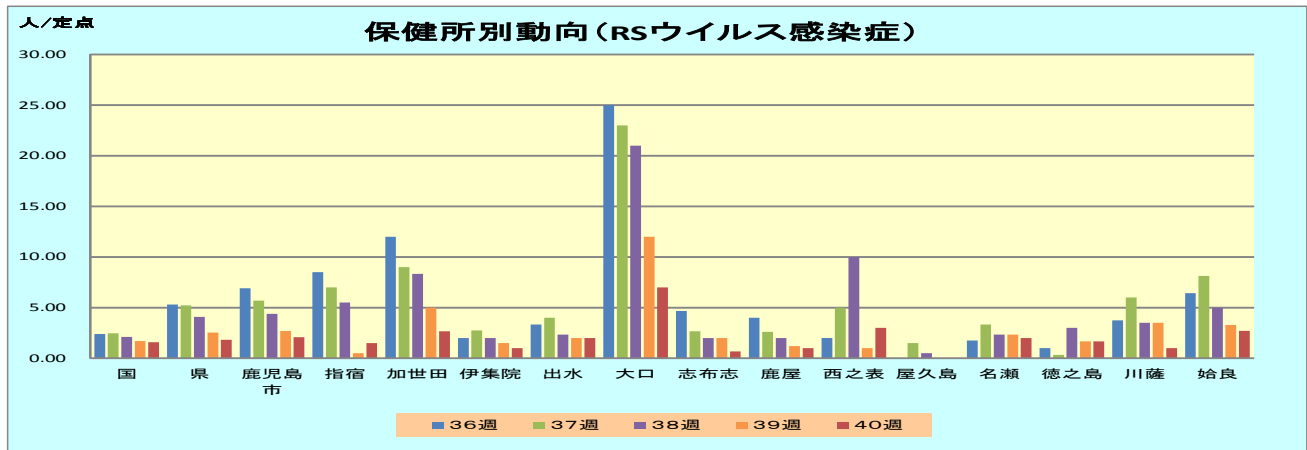
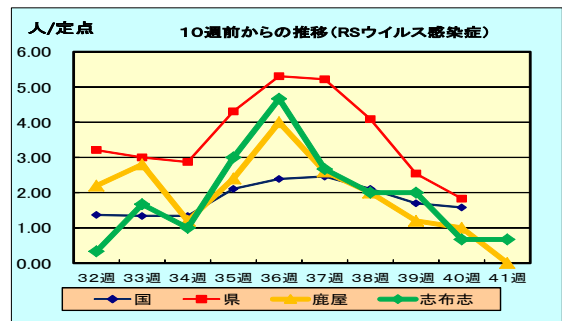
RSウイルス感染症の発生状況は、
鹿屋保健所管内からの報告はありませんでした。

志布志保健所管内からは2名（定点当たり報告数 0.67）
の報告がありました。

年齢別では、1歳未満及び2歳が各1名ずつでした。

（RSウイルス感染症－図2）県内保健所別RSウイルス感染症報告

（RSウイルス感染症－図1）※第41週は鹿屋・志布志のみ掲載



風しんの感染予防について（特に妊娠前からの対応）

県の感染症情報でもお知らせしているとおり、8月末から首都圏を中心に風しん患者の増加が続いています。

報告された風しん患者は30代から50代の男性が多く、特に過去に感染したことがなく、ワクチン未接種の風しん抗体を保有していない人が中心となっています。

風しんは感染力が強く、風しんに対する免疫が不十分な妊娠20週頃までの女性が感染すると、眼や心臓、耳等に障害を持つ（先天性風しん症候群）子どもが出生することがあります。

妊婦への感染を防止するためにも、特に次のような方は抗体検査や任意での風しん予防接種を受けることについて、検討してください。

- ・妊婦の夫、子ども及びその他の同居家族
- ・10代後半から40代の女性（特に妊娠希望者又は妊娠する可能性の高い方。ただし明らかに風しんにかかったことがある方、風しんの予防接種を受けたことがある方又は風しんに対する抗体が陽性であると確認ができている方を除きます。）

